

# 浸水と時間経過

国土交通省は、国土交通省が管理している重信川の区間で150年に一度の確率で起こりえる降雨（計画対象としている規模の降雨）が流域に降り、ある地点で堤防が破堤したという仮定のもとに、氾濫の広がりや水深等を経過時間ごとに示す「重信川氾濫シミュレーション」の結果を、平成11年2月に公表しています。

「重信川氾濫シミュレーション結果図」は、この国土交通省公表資料をもとにして、松前町の市街地に近い河口付近の堤防が決壊した場合、時間の経過とともに浸水の範囲と深さがどのように変化していくのかを、①破堤後1時間、②破堤後3時間、③破堤後5時間の3時点について松前町が編集・作成したものです。

なお、このシミュレーションでは、石手川・砥部川など他の支流の氾濫や高潮、内水による氾濫等を考慮していません。また、地域を500m×500mの区域に分割し、その区域の平均的な地盤高によって想定しているため、道路などの細かな地形の変化による影響などを十分には反映していないことから、洪水氾濫の状況や時間的な推移を概ね表したものとなっています。

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号平11総復第10号)

重信川浸水想定区域

